令和７年度

学校だより

【 第 ２ 号 】 ４月２３日（火）発行
富谷市立富谷第二中学校　　電　話：（３５８）３２９１

令和７年度が本格始動しました

新学期が始まり、始業式、入学式が行われました。始業式では、２、３年の生徒の整然とした姿が見られました。生徒たちからは今年度に向かう前向きな気持ちが感じられ嬉しく思いました。また、入学式では、初々しい姿の緊張した１年生の姿が見られ、これからの成長をとても楽しみに感じました。
始業式、入学式からすでに１週間がたち、生徒たちが、それぞれの目標を持ち、新しい１年の始まりをよいものにしようと努力する姿が多くの場面で見られました。富谷二中生の素晴らしさを感じます。今の気持ちを忘れず、更に大きく成長しようと頑張ってほしいと思います。

始業式の校長式辞

本日から令和７年度の学校生活が始まります。皆さんは、新３年生、新２年生にそれぞれ進級しました。進級おめでとうございます。
３年生の皆さんは、これから二中の最高学年として自覚と責任を持ち、後輩に先輩としての模範を見せながら行動することが求められるでしょう。そして、今年度は、卒業後の進路を決める大事な１年にもなります。時間を大切に、そして有意義に使ってください。
２年生は中堅学年として、３年生を支え、また１年生をリードしながら生徒会や部活動に活躍する年になります。自分なりに目標を立て、どんなふうに学校生活を送りたいのかを自分で考え、日々を過ごしていってほしいと思います。
４月は何かを始めるにはいい機会です。本当のところ、去年やろうとしていたことを達成していなかった、部活動で悔しい思いをした、学習で分からないままのところがあったなど、もし心に悔しさとして残っていることがあったら、そのことをもう一度思い出して、再チャレンジしてみてください。みなさんはいつでもスタートできるのです。「もうだめだ。」なんてことは決してありません。どうか自分を信じて、課題に取り組みながらさらに信じることが出来る自分を作り上げていってほしいと思います。これからの１年間、明るく元気よく、有意義な学校生活を送ってほしいと思います。さて、新年度のはじめにあたり、皆さんに紹介したい言葉があります。すでに聞いたことがあるかもしれません。その言葉は「千里の道も一歩から」です。ちなみに千里とは距離で表すと３９２７ｋｍです。調べてみたところ富谷市から歩いてフィリピンとかベトナムに行くような距離ですね。この言葉は、中国の思想家である老子（ろうし）の言葉に由来しています。どんなに遠い旅路も、足元の一歩から始まる。大きな事柄でもまずは目の前の事を着実にこなし、努力を続けていけば成功するという意味のことわざです。
今まさに４月からスタートしようとしている生徒の皆さんの思いを「千里の道も一歩から」の言葉は後押ししてくれるのではないかと私は思っています。自分で立てた目標を改めて見つめ直したとき、もしかしたら目標が千里以上の遠さに感じてしまうかもしれません。でも勇気を持ってその一歩を踏み出してみてください。一歩を踏み出せば、二歩目が踏み出せます。それを三、四、五と踏み出し続けることで、いつかあっという間に千里を越え、自分の立てた目標を簡単に超せる自分に出会えるようになるかもしれません。そんな出会いをぜひ今年度目指してもらえたらなと思っております。
どうか、新年度のスタートにあたり、「勇気を持って踏み出す心」を持ち、「一歩一歩」を大切にしながら、力強く前へ進んでほしいと願っています。
今年度も二中生の活躍と成長を皆で感じ取ることができることを期待し、令和七年度前期始業式の式辞と致します。

避難訓練（避難経路確認）を行いました

４月１４日（月）６校時に、今年度最初の避難訓練を行いました。今回は、地震を想定した訓練で、各教室からの避難経路を確認しました。
当日はあいにくの雨、生徒達は、訓練地震発生の放送とともに、机の下にもぐって身体を守り、その後、避難経路の確認をしました。みんな、有事の際を想定して真剣に行っていたとのことでした。
なお、避難するときの約束として、「お・か・し・も・ち」という言葉があります。ご家庭にいる時に避難する際にも参考になるよう家族で話しの題材にしていただき、安全に避難できるよう備えをお願い致します。

お　押さない
か　駆け出さない
し　しゃべらない
も　戻らない
ち　近寄らない